

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先: 資源探査部
土居 TEL: 044-520-8587
広報担当: 総務部
今 TEL: 044-520-8592

ボツワナ共和国におけるリモートセンシングセンターの開所について

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC 理事長: 河野博文) は 7 月 28 日正午 (日本時間 28 日 19 時)、ボツワナ共和国ロバツエ市 (Lobatse) にて同国地質調査所とともにリモートセンシングセンターの開所式を開催する。

開所式にはボツワナ側からケデキルウェ鉱物エネルギー - 水資源大臣他約 45 名、日本側からは松山在ボツワナ日本国大使、岡島経済産業省資源エネルギー庁鉱物資源課政策企画調整官、JOGMEC 河野理事長他約 20 名、ブラジル・ヴァーレ社 3 名、多数の日本企業が出席する予定。

甘利経済産業大臣より「本センターを拠点として資源探査分野で積極的に協力することにより、南部アフリカ全体の資源開発を促進し、我が国と貴国を始めとする SADC 諸国との経済関係が一層強化されることを願っております。」とボツワナ政府及び SADC に対しお祝いのメッセージが寄せられている。

リモートセンシング・プロジェクトは、昨年 11 月、ボツワナを訪問した甘利経済産業大臣に同行した JOGMEC 掛札理事長 (当時) が、ボツワナ地質調査所との間で署名した「ボツワナ共和国及び SADC 諸国との鉱物資源を対象とした探査事業 (リモートセンシングプロジェクト) を推進するための協議開始に関する基本合意書」を具体化したものであり、本年 5 月開催の TICAD において SADC 諸国との間での今後の協力関係強化の一環として各国から期待が寄せられていたもの。こうした観点からも、今後、南部アフリカの広域資源探査を可能とするきっかけとなり、我が国の資源確保の観点からも重要と考えられる。

プロジェクト期間は 5 年計画で、初年度はリモートセンシングを活用したボツワナ共和国の鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修の実施などを予定。来年度以降は、プロジェクトの対象を SADC 諸国へも拡大する計画。研修対象者は年間 5 名、日本での 1 ヶ月程度の技術研修 (2~3 名/年間) を予定している。また本センターは、JOGMEC の南部アフリカの鉱物資源探査促進の役割も担う。

なお、JOGMEC はブラジル・ヴァーレ社と本年 5 月、資源探査における技術開発に向けて戦略的パートナーとして協力を促進することを目的とした基本協定を締結しており、その一環として、同社が本プロジェクトに技術指導者派遣を行うこととしている。

また、河野理事長は、7月24日にザンビア共和国を訪問しムタティ商務・貿易・産業大臣及びムワンサ鉱山大臣と、25日にボツワナ共和国ではスケレマニ外務・国際協力大臣、ハオラテ財務・計画大臣及びサロマンSADC事務局長他と各々会談を行い、29日には南アフリカ共和国でソンジカ鉱物・エネルギー大臣と会談の予定。

以上

(参考)

1. リモートセンシング技術

人工衛星や航空機を利用して広い範囲について迅速に地質データを取得する手段であり、地質構造判別、鉱床胚胎有望地区の抽出などに利用されている。

2. ボツワナ地質調査所との基本合意書概要

- ・ ボツワナにおける鉱物資源分野での相互協力と、今後のSADC加盟国との連携を目指し、ボツワナ共和国において鉱物資源分野におけるリモートセンシングプロジェクトの実施を検討。
- ・ 鉱物資源の探査・開発において、日本企業の投資機会を検討。
- ・ 具体的な協力の内容に関しては今後、協議する。

3. ボツワナ地質調査所の概要

- ・ 鉱物エネルギー水資源省傘下の国家機関。ボツワナ共和国において、国による地質調査の実施、鉱物探査に関する承認、岩石、鉱物、水資源関連情報の整備等を行う。
- ・ JOGMECの前身である金属鉱業事業団と同調査所は、ボツワナ共和国において、資源開発協力基礎調査を共同で実施（北東部地域（銅等：1979-1982））。

4. SADCについて

- ・ SADC (Southern African Development Community: 南部アフリカ開発共同体) は、南部アフリカ14カ国(タンザニア、ザンビア、ボツワナ、モザンビーク、アンゴラ、ジンバブエ、レソト、スワジランド、マラウイ、ナミビア、南アフリカ、モーリシャス、コンゴ民主共和国及びマダガスカル)からなる。
- ・ 事務局はボツワナの首都ハボロネ市に所在。
- ・ 域内の経済発展促進と貧困軽減、地域統合、平和と安全の維持・促進、相互依存の原理に基づき活動している。

5. ブラジル連邦共和国ヴァーレ社との覚書概要

- ・ JOGMEC及びヴァーレ社は天然資源探査における技術開発に向けて、戦略的パートナーとして相互協力を促進していく。
- ・ JOGMECがボツワナ共和国及びSADCの協力の下開始するリモートセンシングプロジェクトに対するヴァーレ社の関心をJOGMECは歓迎し、同プロジェクトにおいて取得するデータの共有やヴァーレ

社の貢献について協議を開始する。

- ・リモートセンシングおよび地球物理学等の探査技術における情報を交換するために、定期的に協議する。

SADC諸国

